

キャンピング座間返還地への 病院誘致について

座間・綾瀬市域では夜間の救急輸送体制に参加する医療機関が減少し、近隣の医療機関の協力を得て体制を維持している状況です。

こうした中、座間市は「キャンピング座間」返還予定地に総合病院を誘致する構想を打ち出しましたが、座間市が属する圏央医療圏では全体として病床が過剰であるため、医療法の規制により、新たな病院の建設が難しい状況です。

県では、医療法の弾力的運用を国に要望したり、「医療のブランドデザイン」の中で、医療資源の地域偏在是正策を検討しています。関係者の知恵と努力を結集してすばらしい病院が建設されることを希望します。

【活動報告】

橋の耐震対策について

県では、県の管理する橋りょうのうち、215橋のうち、古い基準で建設されたものや緊急輸送道路上の長さ15メートル以上の橋りょうなど235橋を対象に橋脚の補強や落橋防止装置の設置を進めてきており、本年度中に全て完了する予定とのことであります。

今後は、残る橋りょう980橋のうち耐震性の更なる向上を図るため144橋について耐震対策を行う計画になっています。

また、落橋防止装置についても、10メートルから15メートルまでの橋りょう44橋を対象を拡大する方針である旨の知事からの答弁がありました。



私の主張

第2回 定例会
一般質問
から

これからも、県のホームページを活用して進捗状況を公表していくこととでありましたので、工事の実施状況を注視しながら、県民・市民の安全安心の確立に努力してまいります。

県では、平成19年に平成28年までの10年間を計画期間とする「かながわのみちづくり計画」を策定し、道路整備に取組んでいます。

今年度、「みちづくり計画」は計画策定から5年が経過するため、社会情勢などを踏まえて年度内に改定することとしています。

今後、「事業化検討箇所」を現計画に追加することし、魅力ある地域づくりを支援する取組みを進めてまいります。

JR相模線複線化については、(私)も一部区間を乗車しましたが、単線の不便さを痛感しました(県央・湘南都市圏の発展を支える南北軸として輸送力を改善していく必要があると認識したところ)です。

そのため、南北ゲートの形成により、今後見込まれる乗客数の増加に対応した輸送力確保の検討と共に沿線市町の新たなまちづくりが円滑に進むよう県としては、地元市町と一緒に真剣に議論しながら、マグネット力あるまちづくりに取組み、その将来像をJR東海に示していくことで、新駅の実現につなげてまいります。

今号の「私の主張」では私の質問内容は省略し、これに対する知事答弁の要約または内容を掲載させていただきました。

県政会 政務調査会報告



壊れた建物と自動車の残骸

11月21日、23日にかけて、東日本大震災で大きな被害を受けた若手・宮城両県の被災された方々とふれ合う中、視察を実施してまいりました。

テレビでの報道で見た様子を目前にすると、あまりの悲惨な風景に言葉も出ませんでした。

見渡す限り、津波にさらわれ何もなくなってしまった町の様子は筆舌しがたいものがありました。

しかし、さらに現場で感じたことは、発災後8ヶ月以上がたったこの時点でも各所にガレキの山が散見され、津波に流された車の集積所、そして手つかずのまま残っている人の住んでいない住宅とライフラインの復旧が全くなされていない状況に、政府の対応のまずさと遅々として進まない復興への取組みに怒りさえ感じました。

今後も、私達で支援出来ることは何かないか、考えながら行動に移して行きたいと思えます。まずは、12月県議会において、国に対し、東日本大震災被災地の1日も早い復旧復興を求める意見書を県議会に提案いたしました。



旧陸前高田消防署前



金石警察署



旧陸前高田市役所



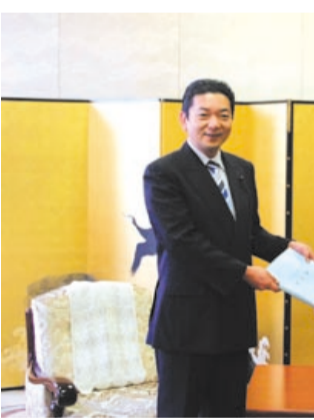
不通になった仙石線の様子



大川小学校前にて

黒岩県知事に 要望書を提出!!

11月28日(月)、「12月定例議会」の初日に県政会所属議員6名で知事室を訪問し、黒岩知事と2名の副知事同席の中、知事に次年度への予算要望として各所属議員の地元自治体ならびに各種団体からヒアリングした政策や要望事項をまとめたものを知事に直接手渡しました。



県議会傍聴バスツアーのご案内

- 日 時 / 平成24年2月20日(月)
- 会 費 / 4,500円
- 募集人数 / 120名
- メ切 / 平成24年2月5日(日)

お問い合わせ先 **やまもと俊昭事務所**
TEL.046-255-8418

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は、3月11日の東日本大震災をはじめ台風の本土上陸など自然災害の多い年でありました。

こうした自然の猛威の前に、人間はなすすべもありませんでした。いつ起きるかわからない自然災害に対し、残念ながら発災をくい止めることは出来ませんが、事前の準備や日頃の訓練によって、その被害を最小限に止めることは可能なはずです。

昨年は、私にとって大きな節目の選挙の年でもありました。皆様の温かいご支援により、おかげ様を持ちまして三期目の当選を果たすことが出来ました。衷心より感謝申し上げます。私は選挙を迎えるに当たって、今後のテーマを「安全・安心」といたしました。

県民・市民が安全に安心してくださるまちづくりの実現に向けて今後も尽力いたしますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。(俊)